

令和5年度 蒲小学校 学校評価報告書

I 令和5年度の本校の取組

『学び合い』本気で学習する子を育てます
・主体的、協働的な授業づくり ・教科担任制による質の高い学び ・効果的なICT活用

『認め合い』本気で相手を思いやる子を育てます
・考え議論する道徳 ・あいさつの励行 ・異学年交流の充実

『開き合い』居心地のよい環境を作ります
・心身の安全 ・いじめや不登校の未然防止 ・チームで対応
・情報の共有化 ・指導の一体化 ・個に応じたプロジェクト

咲かそう蒲桜

やさしさ やる気 夢 いっぱい

『高め合い』本気で体を動かす子を育てます
・教科体育の充実 ・運動の日常化 ・健康教育の充実

『結び合い』家庭や地域と共に学ぶ学校を作ります
・幼小中連携 ・小中交流会 ・コミュニティスクール
・ふれ合いデー ・地域ネットワークの開発

II 自己評価（左から児童、保護者、職員）

児童アンケート質問項目	前期	後期
1 学校や家庭で自分らしさを大切に生活している	85%	85%
2 夢や目標をもって生活している	86%	86%
3 学校で学んださまざまなことが自分の将来に役立つと考えている	89%	89%
4 授業ではめあてをもって学習している	88%	87%
5 授業では人の話を黙ってよく聞いている	83%	82%
6 授業では自分の考えを進んで伝えている	71%	71%
7 授業では自分の言葉で学習のまとめを書いている	78%	79%
8 授業を通して「分かった」「できた」「成長した」と感じている	88%	88%
9 タブレットを使うことが学習内容の理解に役立っている	90%	90%
10 家庭学習の習慣が身についている	85%	85%
11 自分から先に挨拶をしている	81%	80%
12 正しい言葉遣いができている	78%	78%
13 自他の生命を大切に、思いやりをもって人と接している	92%	91%
14 べっぴん遊び、べっぴん清掃、クラブなど他学年の人とも仲良く活動している	91%	91%
15 目標をもって、進んで運動に取り組んでいる	83%	83%
16 交通ルールを守っている	96%	96%
17 生活リズムを整えて生活している	84%	84%
18 学校は安心、安全に過ごすことができる	92%	91%
19 困ったことがあった時に先生に相談できる	84%	83%
20 ふれあいデーで家族や先生とふれ合う時間を取ることができた	87%	87%

保護者アンケート質問項目	前期	後期
1 学校や家庭で自分らしさを大切に生活している	93%	94%
2 夢や目標をもって生活している	69%	70%
3 学校で学んださまざまなことが自分の将来に役立つと考えている	79%	79%
4 授業ではめあてをもって学習している	74%	74%
5 授業では人の話を黙ってよく聞いている	84%	81%
6 授業では自分の考えを進んで伝えている	60%	59%
7 授業では自分の言葉で学習のまとめを書いている	57%	57%
8 授業を通して「分かった」「できた」「成長した」と感じている	82%	81%
9 タブレットを使うことが学習内容の理解に役立っている	75%	80%
10 家庭学習の習慣が身についている	69%	70%
11 自分から先に挨拶をしている	69%	66%
12 正しい言葉遣いができている	70%	68%
13 自他の生命を大切に、思いやりをもって人と接している	93%	94%
14 べっぴん遊び、べっぴん清掃、クラブなど他学年の人とも仲良く活動している	88%	89%
15 目標をもって、進んで運動に取り組んでいる	77%	74%
16 交通ルールを守っている	98%	96%
17 生活リズムを整えて生活している	86%	87%
18 学校は安心、安全に過ごすことができる	94%	94%
19 困ったことがあった時に先生に相談できる	79%	81%
20 ふれあいデーで家族や先生とふれ合う時間を取ることができた	86%	86%

教師アンケート質問項目	前期	後期
1 学校や家庭で自分らしさを大切に生活している	85%	100%
2 夢や目標をもって生活している	76%	95%
3 学校で学んださまざまなことが自分の将来に役立つと考えている	76%	85%
4 授業ではめあてをもって学習している	95%	93%
5 授業では人の話を黙ってよく聞いている	68%	61%
6 授業では自分の考えを進んで伝えている	78%	73%
7 授業では自分の言葉で学習のまとめを書いている	54%	71%
8 授業を通して「分かった」「できた」「成長した」と感じている	93%	88%
9 タブレットを使うことが学習内容の理解に役立っている	76%	90%
10 家庭学習の習慣が身についている	76%	78%
11 自分から先に挨拶をしている	51%	46%
12 正しい言葉遣いができている	66%	54%
13 自他の生命を大切に、思いやりをもって人と接している	98%	85%
14 べっぴん遊び、べっぴん清掃、クラブなど他学年の人とも仲良く活動している	93%	90%
15 目標をもって、進んで運動に取り組んでいる	83%	90%
16 交通ルールを守っている	83%	88%
17 生活リズムを整えて生活している	83%	83%
18 学校は安心、安全に過ごすことができる	85%	90%
19 困ったことがあった時に先生に相談できる	98%	85%
20 ふれあいデーで家族や先生とふれ合う時間を取ることができた	88%	93%

III 分析・考察（案）

- ・家庭訪問やつながりタイム、教育相談やふれあいデーを通して保護者や児童とのつながりを深めることで、個に応じた支援や指導をする環境を整えることができた。
- ・地域での活動や地域人材を活用した活動、外部講師を招いての講話や体験会を教育計画に取り入れることで、児童の主体的な学びに向かう姿が多く見られるようになった。
- ・研修を通して授業の中で効果的なICTの活用を図ってきたことにより、児童の学びの姿から、ICTの活用が学習内容の理解に役立っていると実感できるようになった。
- ・教師の得意を生かした教科担任制により、個に応じた質の高い学習を展開することができたが、児童の協働的な学び（聞く・伝える）に課題があることが数値に表れている。
- ・児童は心許せる人には挨拶をしている。このことが、「誰にでも挨拶をしてほしい」と考えている大人との数値の差になって表れていると考える。

IV 学校運営協議会における学校関係者評価

- ・ボランティアや学習支援のお手伝いに入っても感想がないので、学校だより、ホームページ、閲覧板などで地域の方々に触れるように発信してほしい。
- ・学校の門や学校内では挨拶をするかもしれないが、一步外に出ると自ら挨拶しない児童が多い。教師自ら率先して挨拶してほしい。
- ・授業参観を見て、子供も保護者も授業をしっかりと聞いていて良かった。懇談会の出席率が悪いので、改善したほうがよい。
- ・大事に至る前に早期に対策して、いじめを防止するように努めているのが良い。
- ・児童が学校で過ごす時間が大部分なので、児童にとって居心地の良い場所であって欲しい。

V 今後の改善方策（案）

- ・様々な特性をもつ子供たちがいる。悩みを抱える子供もいる。多様性を理解して互いに認め合ったり支え合ったりしていける環境づくりをしていくとともに、引き続きいじめの未然防止に努める。
- ・授業で、個に応じた学習（個別最適な学び）、児童が互いに学び合う学習（協働的な学び）の質を高めていく。教師がよりよい授業づくりに集中できるよう教育計画を精選する。
- ・各教科の授業とキャリア教育の関連を意識したり、体験的な活動や地域人材・地域資源を生かした学習を取り入れたりして、学びと実生活がつながるような取り組みを推進する。
- ・学校に関わる大人は味方であり支えてくれる人であることを児童に伝えていく。教師、保護者、地域で気持ちのよい挨拶、温かな言葉遣いをし、児童の範となるよう努める。
- ・特別活動の充実を図り、児童の自主的な活動（自己決定）ができるように働き掛けをしていくことで、児童の自主性・主体性を育てる。